

9. 膠原病 Rheumatic Disease,

【1】期 間 2026. 4. 2～2026. 4. 8

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎一瀬邦弘（教授、膠原病内科）
本田学（助教、膠原病内科）

担当講座：整形外科学，リハビリテーション部，小児科学，膠原病・リウマチ内科学，脳神経内科学

【3】授業の目的

膠原病および膠原病類縁疾患，自己炎症性疾患，免疫不全症の病態を理解し，症候，診断，治療について学ぶ。

【4】授業の到達目標

1. 各疾患における原因，病理所見を理解する。
2. 各疾患における血液検査，尿検査，免疫学的検査の意義や動向を理解する。
3. 各種自己抗体と疾患や病態との関連性を理解する。
4. 各疾患における病態，症候，診断法，治療，予後について理解する。
5. 自己免疫，自己炎症の概念を理解する。
6. 副腎皮質ステロイド薬および免疫抑制薬の作用，副作用を理解する。
7. 標的治療と免疫学的機序の関係を理解する。
8. 原発性免疫不全症の病因（機序），症候，診断，治療，予後について理解する。

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義を行い，最終日に試験を実施します。

【6】キーワード

膠原病 リウマチ性疾患 自己免疫性疾患

SDGs：3. すべての人に健康と福祉を，4. 質の高い教育をみんなに

【7】総合評価

コース終了時に，その週の学習効果を試験で評価します。

各講義によっては講義終了時に小テストがあるものもあります。その場合当日中にMoodleに回答をあげてください。

【8】参考図書（◎は学生購入推薦図書，他は図書館に備えてあります）

1. リウマチ病学テキスト 改訂第3版／診断と治療社／2022年
2. 免疫学夜話—遺伝子が語るからだと免疫のふしぎ／橋本 求 著／晶文社／2023年
3. ジェネラリストが知りたい 膠原病のホントのところ／萩野 昇 著／MEDSi／2021年
4. 病気がみえる 6 免疫・膠原病・感染症（第2版）／メディックメディア／2018年
5. Firestein & Kelley' s Textbook of Rheumatology (12th ed.) /Elsevier/2024年
6. Dubois' Lupus Erythematosus and Related Syndromes (10th ed.) /Wallace, Hahn 編/Elsevier/2024年
7. 全身性エリテマトーデス 臨床マニュアル 第4版／橋本 博史 著／日本医事新報社／2025年
8. 全身性エリテマトーデス診療ガイドライン2019／厚生労働科学研究費補助金 難治性

疾患等政策研究事業／2019年

9. ベーチェット病診療ガイドライン 2020／日本ベーチェット病学会 監修／厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）／2020年
10. 現代リハビリテーション医学 改訂第4版／千野直一 編／金原出版／2017年
11. アミロイドーシス診療のすべて—ガイドライン完全解説／山田正仁 編／医歯薬出版／2011年
12. 整形外科医のための関節リウマチ診療ABC—知っておくべき！／西田圭一郎 著／文光堂／2016年
13. 標準整形外科学 第15版／井樋栄二 編／医学書院／2023年

【9】局所解剖 なし